シングリッシュについて

犬丸　稔梨

【調べたきっかけ】

小学６年生の時フィリピンに語学留学をし、フィリピン人の英語がネイティブと違い、興味を持ったからです。また、学校のALTの先生がオーストラリア人で、訛りを感じ、英語の訛りについて興味を持ったため、このテーマを選びました。シングリッシュを日本人の私は聴きとることができるのでしょうか！？

【現地での調査】

・調査方法について

私は実際にシンガポール人のシングリッシュを聞いたり、バディやバディの家族に尋ねて調査しました。

・シングリッシュとは

シングリッシュとはシンガポールで話される英語の変種です。英語を基盤としつつ、マレー語、タミル語、中国語の影響を受けていて、be動詞や不定詞が省略されることもあります。また、過去形や未来形の英語でも、現在形が使われることがあります。また、発音もアメリカ英語とは違い少し訛っています。

・シンガポール人とシングリッシュ

私はバディにシングリッシュについてどのように思っているか聞きました。まず、シンガポール人はシングリッシュを知っているかということについて聞きました。シンガポール人はシングリッシュについてよく知っている人が多いとのことです。シングリッシュは自然に使うようになり、友達や家族と会話するときに毎日使うそうです。シンガポールではほぼアメリカ英語を聞かないそうで、学校の作文や宿題、面接などではシングリッシュで書くことが禁止されています。

実際にシンガポールの方々とはなしてみると、be動詞や不定詞を省略している人が多く、聞きとりにくかったです。

・シングリッシュ特有の言葉

シングリッシュにはシングリッシュ特有の単語のようなものがあるということが分かりました。その一例を紹介します。

1.　Lah これは日本語で言う「ですよ」のような意味で、「Oklah」　（いいですよ）のように使います。

2.　Siao　これはcrazyという意味で日本で言う「バカ」のような意味合いで使い、これは友達と話すときによく使うそうです。

3.　Walao　これは「やばい」という意味で、友達と話すときに一番使うそうです。

・シングリッシュを学ぶには

シングリッシュはシンガポール以外で使われることがありません。そのため、シングリッシュを学ぶにはシンガポール人と話すのが一番です。シンガポールの学校のでもシングリッシュを学ぶことはないので、シンガポール人と話して自然と身につけることができます。

【今回の派遣で学んだこと】

私はホームステイをしたことが初めてで、私の英語がしっかり伝わるのか、うまくコミュニケーションをとることができるのか心配でした。しかし、ジェスチャーを使ったり、バディやバディの家族、友達にもしっかり伝えることができてうれしかったです。言葉が通じなくてもジェスチャーを使うことの大切さを実感しました。

【おわりに】

私は今回の二週間の派遣のおかげで旅行では味わえないシンガポールの生活や文化などをたくさん味わうことができました。印象に残ったのはナショナルデーと中学校体験入学です。ナショナルデーは日本ではあまり経験がなく新鮮でした。また、ホテルから見た花火がとてもきれいで印象に残りました。中学校体験入学では、バディの友達や先生が話しかけてくれて、たくさん友達ができ、色々な話ができてとてもうれしかったです。これからも初対面の人ともすぐに打ち解け、たくさんの人と仲良くなることができた経験を活かして、色々な人と話したいです。この二週間、本当に貴重で素晴らしい経験をありがとうございました。